

### 平成26年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	草木染による地域づくり事業
事業主体 (連絡先)	信濃大町草木染め研究会 (大町市大町 3302 NPO 地域づくり工房)
事業区分	オ その他地域の特色、個性を活かした産業振興
事業タイプ	(3) 教育、文化の振興に関する事業
総事業費	489,060 円 (うち支援金: 360,000 円)

#### 事業内容

農具川のアヤメにはじまり、様々な草木の染色、又中山高原のそばに着目し、名産品であるそばの花・葉・茎を染色に活用し、PRしてゆく。講習会、展示会を開催し、消費者のニーズに合う商品化をめざす。

講習会開催：講師、内容（以下の通り）

講師：渡邊充子氏、草木染め商品化にむけて

西村知子氏、原始感覚美術祭とのコラボ

小林優子氏、草木染めの手法の違いについて

高橋誠一郎氏、草木・花染めの手法について

展示会：農具川岸周辺、塩の道ちょうじや、中山高原、わちがい、信濃大町草木染め研究会講習会場にて開催



【展示販売会 於わちがい】

#### 【目標・ねらい】

- ① 染色技術の向上
- ② 商品化に向けて、消費者ニーズ調査とPR
- ③ シニア層の力を活かす仕事おこし
- ④ 地域の経済的効果、誘客、活性化につなげる。

#### 事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

①展示会への参加者は市内イベントとのコラボなどにより、当初見込みの4倍近い数となり、誘客につながった。【展示会来客数 1,885 人】

②講習会、展示会により、消費者ニーズや染色技術を研鑽することができ、商品化へつながるステップアップができた。【開発商品 150 点、染色種類 95 色】

③シニア層のみならず、若い人の参加もあり、今後に明るい見通しができた。また市内小学校より体験学習の参加（延べ5人）や総合学習の一環として活用していただくことができた。（参加小学生 138 人）

④地元産の染色材料を使つての染色をPRすることができ、市内のみならず、小谷～松本地域から関心を持って参加してくれる人が増えた。

#### ※自己評価【B】

#### 【理由】

消費者ニーズ把握や誘客はできた。アヤメ花染めの技術向上や、商品化があまりできなかった。

#### 今後の取り組み

今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

地域の歴史ある産業・文化、また新しい芸術祭とのコラボにより、染色で大町の絵を描きたい。近隣地域での展示会、講習会を充実させることにより、新会員の開拓、仕事おこしにつなげていく。

染色技術の向上、消費者ニーズに合った商品を作り、販売、誘客、地域の活性化を目指す。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある